

## NCP 第44回 オープンセミナー



日 時： 2019年 7月21日(日曜日) 9:45-13:00

場 所： 高見研修センター(スギヤマ薬品研修センター 2F)  
〒464-0073 名古屋市千種区高見1-1-5 TEL.052-757-5411

参加費： 3,000 円 (学生：無 料) 定員： 90名

新制度第1回目のセミナーは漢方薬をテーマに企画しました。漢方薬の使用は、OTCのみならず処方薬としても多剤処方が増えてきている昨今の状況において薬剤師としての安全使用に関する知識は、臨床薬剤師必須のテーマであると思います。本セミナーでは、特にアトピー性皮膚炎に関してアカデミックな視点と、薬局店頭におけるポイントを中心にご講演いただきます。

～運営委員より

## ■講演1 9:45-11:15

## 『アトピー性皮膚炎に応用される漢方方剤とその科学的根拠の理解』

講師：名城大学薬学部 教授 能勢 充彦 先生

本邦において、一般用および医療用漢方処方 294 処方を数えるが、アトピー性皮膚炎を適応症とする処方 は現在のところ一つもない。その一方で、臨床では体質改善を期待してか、数多くの漢方方剤が本症に応用されている。本講演では、アトピー性皮膚炎に応用される漢方方剤ならびにその有効性に関する基礎研究を紹介し、それらの抗アレルギー作用についての科学的根拠がどこまで明らかにされているかを考察することで、本疾患における漢方治療を考える機会としたい。

休憩： 11:15 ~ 11:30

## ■講演2 11:30-13:00

## 『アトピー性皮膚炎の漢方病理的解釈とその治療&amp;食養生』

講師：ハーブ調剤薬局 金 允勝(キム テスン) 先生

漢方薬を上手に使いこなすコツは、漢方医学特有の薬理・病理を知っておくこと。一見、難解そうに見える中国古典哲学も、一度わかってしまうと、とても単純でそれでいて便利な事に気が付きます。代表的な皮膚疾患である「アトピー性皮膚炎」を例に、漢方的な薬理病理を解説し、臨床現場で行われているアトピー性皮膚炎の漢方治療の処方意図を分析し、さらには薬剤師ならではの食育をご紹介して食養生について説明します。



主催：NPO名古屋臨床薬剤師研究会

## 【アクセス】

今池駅より・③番出口より徒歩にて約10分  
東部医療センター前

## 【お申込み方法】

両セミナーともHP: <http://www.nicp.jp/ncp/>  
の参加申込みフォームよりお申込み下さい。  
定員に達しない場合にのみ、当日受付を致します。

## 【連絡先】 NPO名古屋臨床薬剤師研究会 事務局

名古屋千種区吹上1-2-15-5F (株)名古屋臨床薬理研究所内  
Tel 052-733-7601 Fax 052-846-2888